



オイルクーラーキット 取扱説明書

商品番号 : 07 07 0178
適応車種 : シグナスX / SR SE12J
 : シグナスX / SR [F I] SE44J

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
オイルクーラーを取り付けた際、必ずエンジンオイルが循環している事を確認して下さい。

～ 特 徴 ～

- ・オイルの取り出しはベースプレートからとし、ベースプレートはアルミ削り出しを採用。
- ・オイルクーラーはカウルに収まるスリムクーラーを採用、またオイルホースはスリムラインホースとしております。

⚠ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)

⚠ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

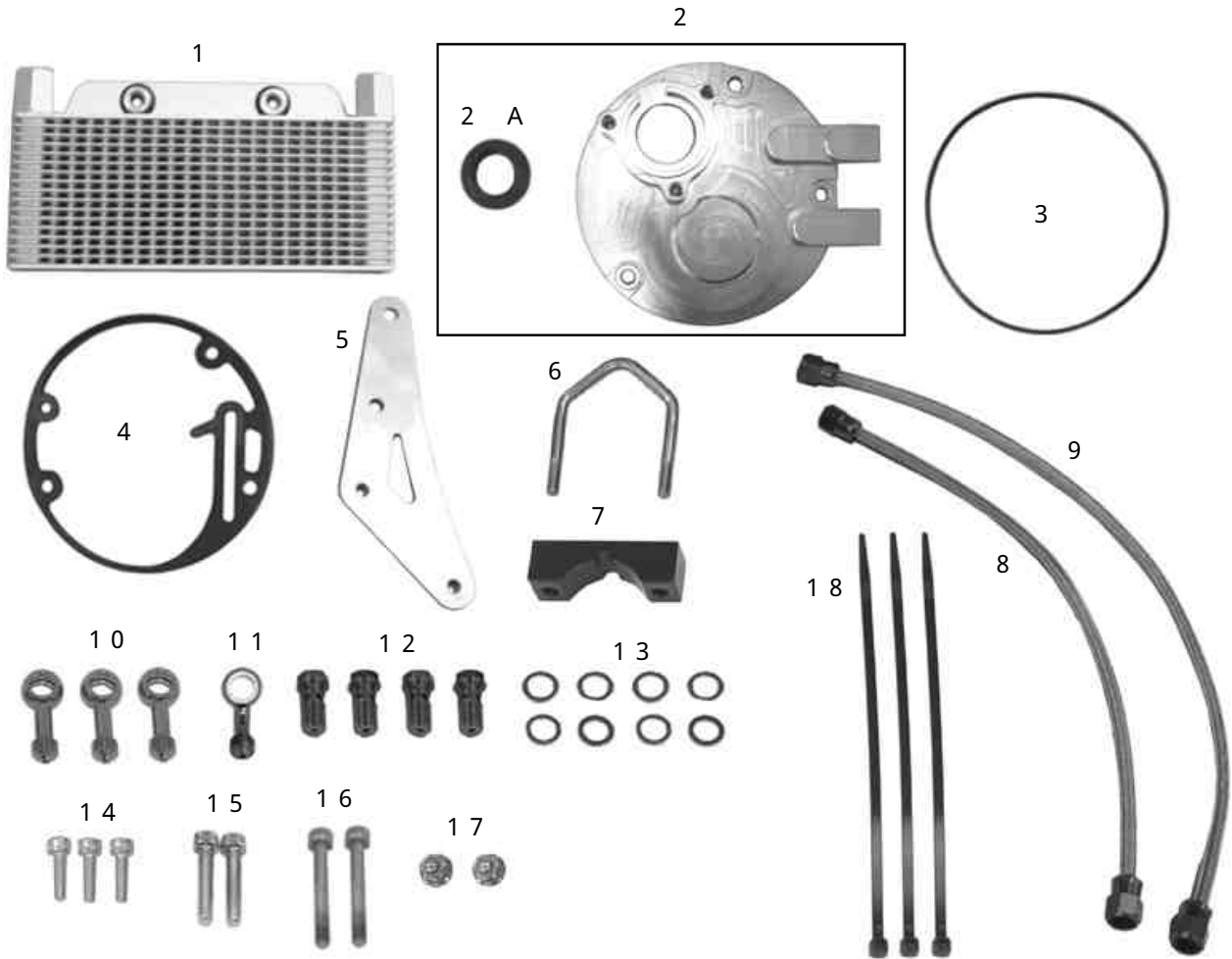
- ・技術・知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。(部品破損等の原因により、転倒・事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、換気の良い場所で作業を行ってください。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

~ 商 品 内 容 ~



番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
1	オイルクーラー	1	00 07 0086	1
2	ベースプレートCOMP.	1	31100 SE4 T01	1
2 A	オイルシール	1	00 05 0270	1
3	Oリング	1	00 05 0271	1
4	ガスケット	1	00 00 0607	1
5	オイルクーラーステーCOMP.	1	15600 SE1 T00	1
6	Uボルト	1	15662 5LB T00	1
7	オイルクーラーブラケット	1	15661 5LB T00	1
8	オイルホース 310mm	1	00 07 0023	1
9	オイルホース 390mm	1	00 07 0027	1
10	バンジョー(ストレート)	3	00 07 0006	1
11	バンジョー(25°)	1	00 07 0037	1
12	バンジョーボルト M10	4	00 07 0038	1
13	シーリングワッシャ	8	00 07 0010	10
14	ソケットキャップスクリュー 6×15	3	00 00 0718	5
15	ソケットキャップスクリュー 6×30	2	00 00 0090	5
16	ソケットキャップスクリュー 6×70	2	00 00 0730	5
17	フランジキャップナット 6mm	2	00 00 0294	10
18	インシュロックタイ 200mm	3	00 00 0269	10

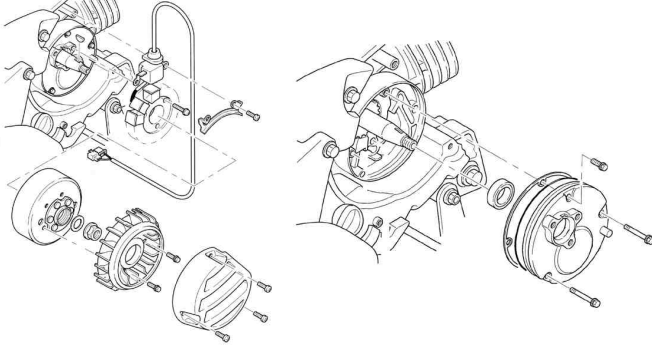
リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

～ 取 り 付 け 要 領 ～

サービスマニュアルを参照にシート周りカバー（フロント、右サイドカバー、スタンディングハンドル、トランク、シート）及びカバーエアシュラウド3、エアシュラウドカバー、ファン、ACマグネーター（フライホイール）、ステーターコイルASSY、カバー（ステーターベース）、ガスケットを取り外します。

ステーターベース取り外しの際、エンジンよりオイルが漏れる可能性があるため、注意して下さい。

ステーターベースのネジ及びガスケット、オイルシール以外の部品は再使用します。



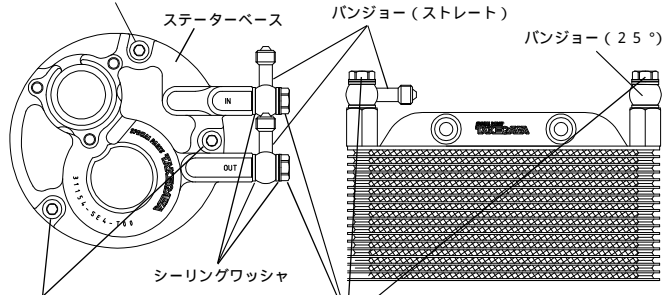
キット付属のステーターベースにOリングを組み付け、ガスケット、ステーターベースの順にエンジンに取り付け、キット付属のソケットキャップスクリューで締め付けます。

取り付け方向は下の図を参照に取り付けて下さい。

ステーターベースの取り付けボルトはFI車の型式で異なります。

取り外したボルトの長さを確認して取り付けして下さい。

ソケットキャップスクリュー6×15



ソケットキャップスクリュー6×30

(キャブ車及びFI車(1YP)は6×70) バンジョーボルト(M10)

締め付けが完了すればファン、ACマグネーター（フライホイール）、ステーターコイルASSYを組み付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

ステーターコイル取り付けボルト

: 7 N・m (0.7 kgf・m)

ファン取り付けフランジボルト

: 7 N・m (0.7 kgf・m)

ホルダー固定ボルト

: 7 N・m (0.7 kgf・m)

ソケットキャップスクリュー6×15、6×30、6×70

: 7 N・m (0.7 kgf・m)

ACマグネーター固定ナット（フライホイールナット）

: 70 N・m (7.0 kgf・m)

ソケットキャップスクリュー以外のネジ類は全て、純正部品を再使用します。

Oリングを組み付ける際はグリスを塗布し、組み付けて下さい。

(推奨：ヤマハグリスB)

オイルが付着している場合は必ず拭き取る様にして下さい。

ステーターベースにダウエルピン組み付けがあるので必ず付け忘れのない様に注意して下さい。

バンジョー（ストレート：ステーターベース2ヶ所、オイルクーラー1ヶ所、残り1ヶ所25°）をシーリングワッシャ2枚で挟み、ステーターベース及びオイルクーラーにバンジョーボルトM10で仮締めします。

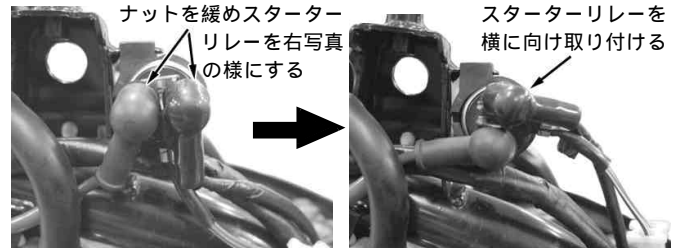
オイルクーラーステーを写真の位置にオイルクーラーブラケットとUボルトを使用し、キャップナットで固定します。

FI車(28S)の場合ステーターリレー配線の向きを変更する必要があります。(写真を参考に行ってください。)

バッテリーターミナルを取り外し、作業を行う事をお勧めします。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

フランジキャップナット : 7 N・m (0.7 kgf・m)



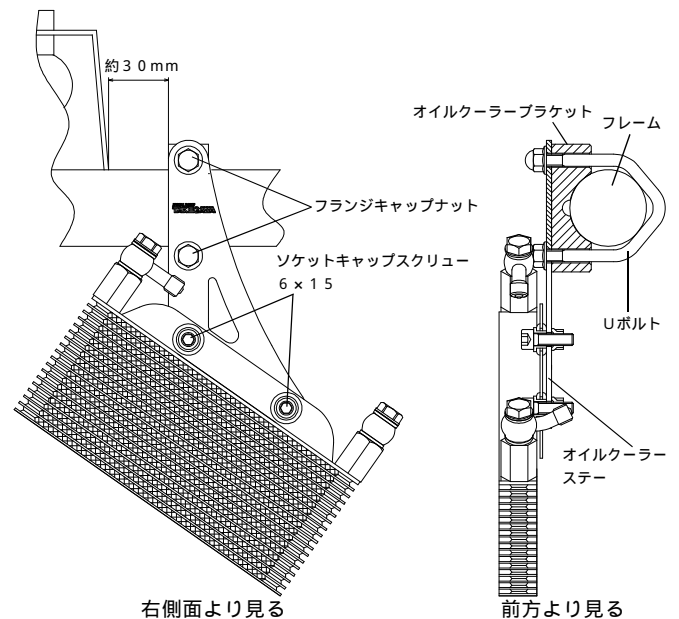
1YPモデルの場合、接触しない程度の調整を行ってください。

固定が完了すればオイルクーラーをソケットキャップスクリュー6×15を使用し組み付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

ソケットキャップスクリュー6×15

: 7 N・m (0.7 kgf・m)

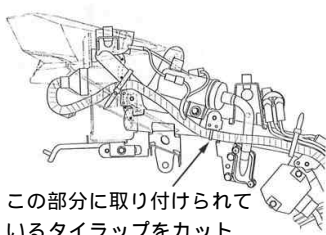


右側面より見る

前方より見る

1 Y Pモデルの場合、純正メインハーネス（オイルクーラースターよりテールライト側にかけて）の取り回しのままでは以後の作業が困難になる可能性がある為、図の位置で固定されているタイラップを除去し、写真の様に上側に移設して下さい。

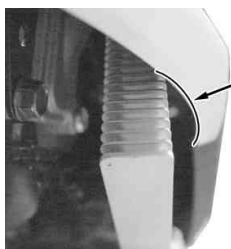
移設した後キット付属のタイラップを使用しハーネスが動かない様固定して下さい。



この部分に取り付けられているタイラップをカット



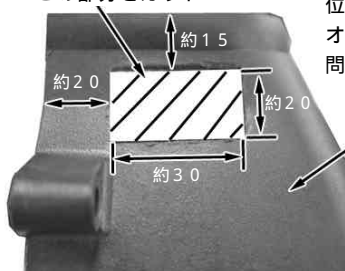
組み付け後右サイドカバーを仮組みし、オイルクーラーとの干渉が無い様に位置及び取り付け角度を調整するかカバーの干渉を除去して下さい。



位置及び角度を調整するか干渉部を除去して下さい

取り外したカバーエアシュラウド3をオイルホース取り回しの為、写真を参考に加工します。

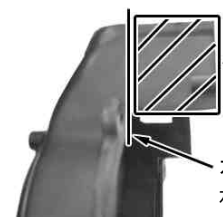
この部分をカット



シュラウド3を上から見る

位置や寸法はおおよそなのでオイルホースが通る程度でも問題ありません。

スロットルバルブ（キャブレター）取り付け面



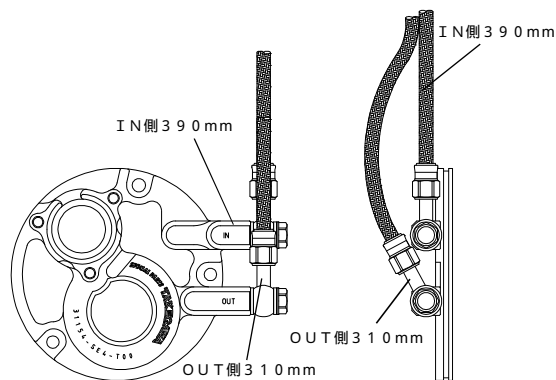
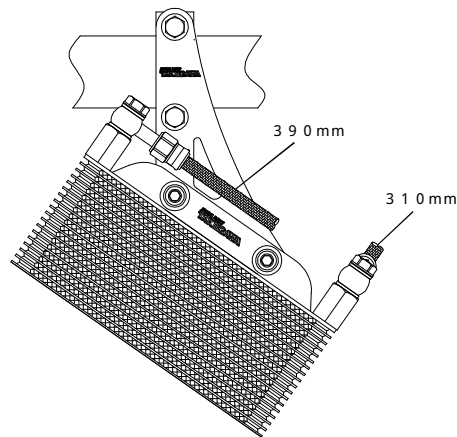
シュラウド3を下から見る

この箇所をカット
スターターベースのオイル取り出し部に干渉しない範囲のカットでも問題ありません。

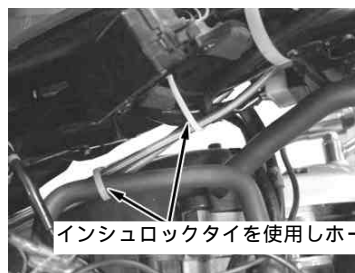
カット位置
水平になる様に

加工したカバーエアシュラウド3にオイルホースを通しスターターベースに取り付けます。

IN側に390mmのホースを、OUT側に310mmのホースを取り付け、オイルホースフィッティングを締め付けます。



インシュロックタイは任意の位置で、ホースをまとめる為にご使用下さい。



インシュロックタイを使用しホースを固定

オイルホースフィッティングを取り付けバンジョーボルト（M10）で固定します。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルトM10 : 14 N・m (1.4 kgf・m)
オイルホースフィッティング: 6 N・m (0.6 kgf・m)

固定が完了すればカバーエアシュラウド3を組み付けます。オイルは40cc程度追加して下さい。トランクを組み付けした際Uボルトとトランクが若干干渉します。気になる場合、トランクの干渉部分を削って下さい。

組み付けが完了すればエンジンを始動し、オイル漏れが無いが確認して下さい。

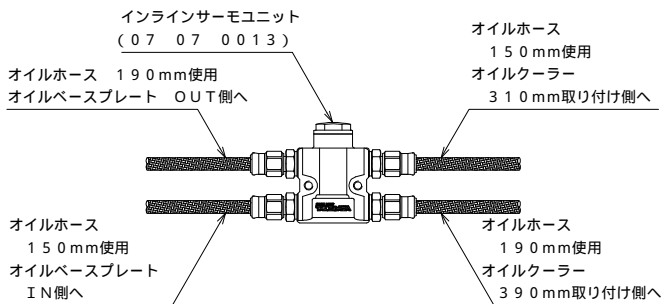
弊社インラインサーモユニット(07 07 0013)の取り付けが可能となっております。

取り付ける為に必要な物

取り付け作業を行う場合、ホースを別途購入して頂く必要があります。

- ・オイルホース 150mm : 00 07 0019 必要本数 2
- ・オイルホース 190mm : 00 07 0020 必要本数 2

図の様にホースを取り付け、オイルクーラーとベースプレートの間付近で取り付けを行って下さい。



株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>